

ぶん く た 文の 組み立て こそあど (さす ことば) [こたえ]

4年生

なまえ _____

おぼえよう さしているものは、しるしの ことばより **前**にある
み 見つけたら、しるしの ことばと いれかえて **よ**読んでみよう

れい

だいどころ おお 台所に 大きな なべがある。 それで カレーをつく。

おお
大

き

な

な

べ

しるしの ことばがさしているものを、文の 中から □の 数だけ 書きぬきましょう。 **こたえ**

※ 字が すべて 合っていれば ○

※ 「、」と ことばの 間の あきは 数えない

① えき まえ あたら や 駅の 前に 新しい パン屋が できた。 そこは 朝から 人で いっぱいだ。

6字

あた
新

し

い

パ

ン

や
屋

② こうえん もん ちか おお き 公園の 門の 近くに 大きな さくらの 木がある。 それは 町で いちばん 古い 木だ。

8字

おお
大

き

な

さ

く

ら

の

き
木

③ きょねん ほっかいどう い わたしは 去年 北海道へ 行った。 そこで 見た 星空は 今でも わすれられない。

3字

ほっ
北

かい
海

どう
道

④ つくえの うえ あか ひょうし じしよ つくえの 上に 赤い 表紙の 辞書がある。 これは 父から もらった ものだ。

7字

あか
赤

い

ひょう
表

し
紙

の

じ
辞

しよ
書

